

【2009年3月期決算記者会見資料】

①契約の状況等

		08年3月期	08年9月期	09年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	12,739 (44.6%減)	19,681 (125.1%増)	41,284 (224.1%増)
うち第三分野	(百万円)	— (100.0%減)	— (—)	— (—)
保有契約年換算保険料	(百万円)	99,358 (7.9%増)	115,921 (17.9%増)	134,658 (35.5%増)
うち第三分野	(百万円)	6,115 (9.3%減)	5,789 (9.5%減)	5,500 (10.1%減)
保険料等収入	(百万円)	134,097 (44.3%減)	121,350 (37.8%増)	245,750 (83.3%増)
うち個人保険分野	(百万円)	125,960 (44.7%減)	117,529 (41.5%増)	237,756 (88.8%増)
うち団体保険分野	(百万円)	4,900 (32.5%減)	1,258 (54.9%減)	2,696 (45.0%減)
新契約高	(百万円)	93,388 (48.0%減)	105,997 (65.9%増)	216,270 (131.6%増)
保有契約高	(百万円)	2,261,006 (10.4%減)	2,199,757 (10.0%減)	2,120,000 (6.2%減)
解約・失効高	(百万円)	165,582 (31.8%減)	71,849 (19.5%減)	135,301 (18.3%減)
解約・失効率	(%)	6.56 2.55ポイント低下	3.18 0.36ポイント低下	5.98 0.58ポイント低下

\* 保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険

\* ( )内は前年同期比増減率

\* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

\* 保険料等収入は損益計算書ベース

\* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、うち団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料

\* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

②資産の状況等

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
総資産	(百万円)	1,048,962 (2.7%減)	1,100,845 (1.2%減)	1,171,138 (11.6%増)
実質純資産額	(百万円)	63,798 (0.5%増)	53,926 (15.9%減)	87,155 (36.6%増)
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	13.9 0.2ポイント増	11.6 2.6ポイント低下	17.1 3.2ポイント増
ソルベンシー・マージン比率	(%)	920.7 283.0ポイント低下	661.0 430.7ポイント低下	836.8 83.9ポイント低下

\*実質純資産額／一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント

\* ( )内は前年同期比増減率

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
基礎利益	(百万円)	△18,183 (181.6%増)	△40,836 (124.6%増)	△4,000

\* ( )内は前年同期比増減率

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	4,103 (14減)	3,651 (451減)	3,000

\* ( )内は前年同期比増減実額

		08年3月期	09年3月期	10年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	1.04	1.00	1.0
運用利回り(一般勘定)	%	4.34(0.96)	6.03(0.83)	0.3(0.9)
平均予定利率	%	2.08	1.89	1.7

\* 運用利回りについては、金銭の信託運用損益(変額個人年金保険リスクヘッジ)を除いた数値を括弧内に記載しております。

④準備金

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	990,560 ( 20,997減)	1,048,399 ( 3,333減)	1,090,175 ( 99,615増)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	401,133 ( 4,454増)	412,995 ( 21,329増)	428,540 ( 27,406増)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	589,427 ( 25,451減)	635,403 ( 24,662減)	661,635 ( 72,208増)
価格変動準備金	(百万円)	414 ( 21増)	424 ( 20増)	433 ( 19増)
危険準備金	(百万円)	13,587 ( 4,275増)	16,093 ( 3,981増)	17,508 ( 3,920増)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	4,551 ( 19減)	5,055 ( 73増)	5,286 ( 734増)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	8,626 ( 3,885増)	10,628 ( 3,860増)	11,812 ( 3,185増)
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	409 ( 409増)	409 ( 47増)	409 ( — )
危険準備積立金	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
価格変動積立金	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

\* 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。

\* ( )内は前年同期比増減実額

⑤含み損益

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
有価証券	(百万円)	1,470 ( 2,198増)	△307 ( 612増)	2,998 ( 1,527増)
うち国内株式	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
うち国内債券	(百万円)	1,549 ( 2,596増)	△196 ( 805増)	2,998 ( 1,449増)
うち外国証券	(百万円)	△4 ( 89減)	0 ( 11増)	— ( 4増)
不動産	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

\* 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とする。再評価前・後のいずれの水準かは注記のこと

\* ( )内は前年同期比増減実額

⑥運用実績と計画

		08年度実績	09年度計画
国内株式	(百万円)	0減	—
国内債券	(百万円)	17,989増	横ばい
外国株式等	(百万円)	52減	—
外国債券	(百万円)	—	—
不動産	(百万円)	15減	—

⑦資産の含み損益がゼロになる水準(09年3月末時点)

		09年3月末
日経平均株価	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
TOPIX	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	1.6%
外国証券	(円)	98.23円

\* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

\* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出

\* 外国証券はドル円換算にて算出

⑧09年3月期の業績見通し

		10年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	250,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	170,000
保有契約高	(百万円)	2,130,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

\* 銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

\* 銀行からの拠出の株式は3月末の時価

ii 銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	11,997

\* 基金拠出者以外の金額も含む

\* 銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

\* 銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

⑩職員数

		08年3月末	08年9月末	09年3月末
営業職員	(人)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
内勤職員	(人)	339 ( 5.9%増 )	344 ( 10.6%増 )	340 ( 0.3%増 )

\* ( )内は前年同期比増減率

⑪銀行窓販の状況

			08年3月期	09年3月期	窓販開始以来実績 02年10月～09年3月
変額年金保険	新契約件数	(件)	10,840 ( 43.0%減 )	35,844 ( 230.7%増 )	83,523 ( — )
	金額(収入保険料)	(百万円)	81,281 ( 44.8%減 )	209,016 ( 157.1%増 )	740,178 ( — )
定額年金保険	新契約件数	(件)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
	金額(収入保険料)	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

※銀行には信用金庫を含みます。

\* ( )内は前年同期比増減率

※定額年金保険の取り扱いはありません。

			08年3月期	09年3月期	窓販開始以来実績 05年10月～09年3月
一時払終身保険	新契約件数	(件)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
	金額(収入保険料)	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
一時払養老保険	新契約件数	(件)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
	金額(収入保険料)	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

※一時払終身保険及び一時払養老保険の取り扱いはありません。

			08年3月期	09年3月期	窓販開始以来実績 07年12月～09年3月
<全面解禁商品>	新契約件数	(件)	— ( — )	— ( — )	— ( — )
	金額(収入保険料)	(百万円)	— ( — )	— ( — )	— ( — )

※全面解禁商品の取り扱いはありません。

## その他質問項目(2009年3月期)

## ○2008年度下半期の契約の状況等

		07年10月～08年3月	08年10月～09年3月
新契約年換算保険料	(百万円)	3,995 (76.1%減)	21,603 (440.7%増)
うち第三分野	(百万円)	— (—)	— (—)
保険料等収入	(百万円)	46,016 (70.3%減)	124,399 (170.3%増)
うち個人保険分野	(百万円)	42,880 (70.9%減)	120,226 (180.4%増)
うち団体保険分野	(百万円)	2,109 (38.8%減)	1,438 (31.8%減)
新契約高	(百万円)	29,487 (76.5%減)	110,272 (274.0%増)
解約・失効高	(百万円)	76,316 (26.6%減)	63,451 (16.9%減)
解約・失効率	(%)	3.02 0.88ポイント低下	2.81 0.21ポイント低下

\* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

\*( )内は前年同期比増減率

\* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

\* 保険料等収入は損益計算書ベース

\* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料

\* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

## ○「不払い問題」に対する主な再発防止策

## 1. 業務改善に向けた主な再発防止策

保険金等の適切なお支払いに向けて、以下の3点を柱とする保険金等支払管理態勢の充実を図っています。

- ①支払管理部門の態勢整備
- ②支払監理部の設置による支払監理態勢の強化
- ③お客さまの視点に立った業務運営の拡充

## 2. 保険金等の支払管理態勢の強化に向けた今後の取組み(継続取組み項目を含む)

保険金等の適切なお支払いに向けて、今後もいっそう「お客さまの視点に立って保険金等についてお支払いできるものは全てお支払いする」という取組み方針のもと、引き続き以下の取組みを実施してまいります。

- ①お客さまの視点に立った保険金等のお支払いに向けた規程等の整備
- ②「支払監理委員会」による保険金等のお支払い態勢の監督強化
- ③お客さまの視点に立ったご請求案内に向けた内部監査の強化
- ④「ご契約内容のお知らせ」による保障内容の定期的なお知らせ
- ⑤「保険金等をお支払いできる事例・お支払いできない事例」の作成
- ⑥保険金等の請求・照会窓口の一元化及びお客さまへのきめ細やかな保全案内
- ⑦失効したご契約に対するお客さま利便向上策の実施
- ⑧お客さまが購入した商品について複数の保険金等の請求を同時に行いやすくするような商品の開発
- ⑨約款の平明化及び簡素化

## ○証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

		2009年3月末		
		時価	含み損益	実現損益
		2008年3月末		
証券化商品等合計	(億円)	—	2	0
(うちサブプライム関連全体)	(億円)	(—)	(—)	(—)
SPEs一般	(億円)	—	—	—
CDO	(億円)	—	2	0
その他サブプライム・Alt-Aエキスポージャー	(億円)	—	—	—
CMBS	(億円)	—	—	—
レバレッジド・ファイナンス	(億円)	—	—	—
RMBS	(億円)	—	—	—
クレジットリンクノート/ローン	(億円)	—	—	—
その他	(億円)	—	—	—

## 【特記事項】

実現損益には、利息配当金等収入などを含んでおります。